豊かな自然と歴史のこころがつくる活力のあるまち

広報そえだ

Soeda Public Relations

JUN.2018

6

No.680

吉木のヤマザクラで復興のシンボルを

◉クラウドファンディング実施中です

英彦山のふもと、落合吉木地区で約300年にわたって花を咲かせ、地域の皆さんに愛されてきた「吉木のヤマザクラ」。昨年の北部九州豪雨後に惜しくも倒木してしまったこのヤマザクラを利用し、復興のシンボルとなるモニュメントを皆さんから支援を募り、制作します。

皆さんの支援をよろしくお願いします。

●目標金額　1,700,000円

●募集期限　6月29日㊎

委託会社　（株）Readyfor
クラウドファンディングホームページ
添田町　吉木のヤマザクラ
https://readyfor.jp/projects/soeda-sakura2018

Readyfor 吉木のヤマザクラ　検索

問 役場まちづくり課文化財係（☎82-5964）

▶▶▶クラウドファンディングとは…

「こんなモノやサービスを作りたい」「世の中の問題を、こんなふうに解決したい」などといったアイデアやプロジェクトを持つ人や団体が、専用のインターネットサイトを通じて、世の中に呼びかけ、共感した人から広く資金を集める方法です。今回のクラウドファンディングは、寄付型となり、期間内に目標金額に到達しない場合は、返金となります。

梅雨や台風の季節を迎えるこれから

災害への備えを

昨年の九州北部豪雨からもうすぐ１年になり、これから梅雨や台風といった雨の多い季節を迎えます。今回は、水害をはじめとした災害に備えて地域の皆さんができる対策を紹介し、水害への備えを考えます。

問 役場防災管理課（☎ 82-4002）

あの豪雨から1年

昨年7月5日、大雨特別警報が発令され、落合地区を中心に滝のようにたたきつけるすさまじい雨が降り、彦山川を濁流に変え、町を襲いました。彦山川沿いの道路や家屋には流れ出た土砂や流木が散乱。彦山川の護岸は崩れ落ち、橋は流失、道路のアスファルトはえぐられていました。JR日田彦山線の鉄橋を流木が塞ぎ、家屋の流失や床上浸水や床下浸水、農業用の取水口や用水路も壊されました。

あの日、甚大な被害をもたらした九州北部豪雨からもうすぐ1年。多くの皆さんからの心温まるご支援に感謝し、町は、復興へ向けて頑張っています。

日ごろの備えを確認

近年、九州北部豪雨のような局地的豪雨が頻繁に発生。被害状況だけでなく雨の降り方にも関心が高まっています。特にこれからの季節、梅雨の長雨や台風の接近など、災害に対する備えが必要になります。

いざという時、あわてず行動できるよう家庭や会社、学校などで災害への備えについて、話し合いましょう。特に家庭では避難場所や避難経路、災害時避難用の非常持出品や非常備蓄品を確認。また、家の中と外を点検し、雨どいや側溝の落ち葉・土砂などを取り除き、家の周りの水はけを良くし、雨水の流れを止めないようにしましょう。

安全確保を第一に

台風の接近や豪雨など、災害が発生するおそれが高まり、地域の皆さんの避難が必要になった場合に、町は「避難準備」「避難勧告」「避難指示」の避難に関する情報を発令します。皆さんは、防災行政無線や緊急速報メール、テレビ・ラジオなどで周知される情報を確認し、安全確保を第一に考えて、適切な行動を取ってください。

気象庁は、警報基準をはるかに超える数十年に一度の大災害が起こる危険性が高まった場合に、これまでにない危険が迫っていることをお知らせする「特別警報」を発令します。特別警報が発表されたら、ただちに命を守る行動をとってください。

PICK UP

防災行政無線のサイレンパターン

防災行政無線は、緊急事態の種類や放送の内容ごとに、サイレンやチャイムのパターンを決めています。

◉添田町

①避難勧告や避難指示などの緊急放送
▶▶▶　サイレン音

②町の各種行事や防犯などに関する情報
▶▶▶　チャイム音

◉田川地区消防本部

①町内での建物火災▶▶▶　消防本部サイレン音

◉Ｊアラート

①緊急地震速報▶▶▶　緊急地震速報チャイム音

②各種特別警報▶▶▶　Ｊアラートサイレン音

③ゲリラ等による攻撃、弾道ミサイル攻撃、大規模テロ▶▶▶　Ｊアラート有事サイレン音

【写真】昨年７月５日発生した九州北部豪雨の状況

ご協力をお願いします

避難時に支援が必要な人の名簿を作成しています

町では、災害発生のおそれがある場合や災害発生時に、自分で避難することが困難で、支援が必要な高齢者や障がいのある人（避難行動要支援者）の名簿を作成しています。

作成した名簿は、消防や警察、行政区長、民生委員など避難支援に携わる関係者に平常時から提供し、いざというときの避難支援に活用します。災害発生時に備え平常時から避難支援に携わる関係者への情報提供は、対象者ご本人の同意が必要です。避難支援を希望し、個人情報の提供に同意される人は、役場まで連絡をお願いします。あらためて役場から調査に伺います。

なお、災害発生時は同意の有無に関わらず、災害対策基本法に基づき、関係者へ情報提供することがあります。また、情報提供に同意することで、災害時に避難支援を受ける可能性は高まりますが、必ず支援されることを保証するものではなく、避難支援者は法的な責任や義務を負うものではありません。

◉災害情報は電話やインターネットでチェック

◉遠賀川防災情報

遠賀川流域の河川ごと、市町村ごとのレーダー雨量や河川水位、河川画像をリアルタイムで提供します。また、当サイトの河川情報アラームメールに登録すると、九州地方の雨量水位情報をメールで受信できます。

http://www.qsr.mlit.go.jp/onga/mobile/

◉防災メールまもるくん

登録すると大雨注意報や警報、市町村が出した避難勧告などの情報をメールで受信できます。

http://www.bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp/

※子育て支援連携システムの「子育てネットそえだ」に登録している人は、災害などの緊急情報をメールで受信できます。

【防災行政無線電話案内サービス】

防災行政無線の放送内容を☎88-8555 で確認できます。また、町ホームページや添田町安心安全ツイッターや添田町安心安全フェイスブックでも確認できます。火災については、☎ 42-0119におかけください。

添田町長選挙及び添田町議会議員一般選挙

投票日

7月8日日

任期満了に伴う添田町長選挙及び添田町議会議員一般選挙が、７月８日日に行われます。この選挙は、添田町の未来を決める大切な選挙です。あなたの大切な一票で、明るく豊かな添田町をつくりましょう。

投票時間　7時～18時

今回の選挙に投票できる人は

◉**住所要件**　添田町に住所を有し、引き続き3か月以上経過している人。なお、転入者は、4月2日までに転入届をして引き続き3か月以上居住している人

◉**年齢要件**　平成12年7月9日以前に生まれた人

※年齢要件を満たしている人でも住所要件を満たしていない場合は、投票できません。また、町の選挙では添田町から転出した人は、投票できません。

期日前投票は7月4日からです

投票日に旅行や仕事、病気などで投票に行けない人は、期日前投票をすることができます。

◉期日前投票の期間

7月4日水～7日土
8時30分～20時

◉期日前投票の会場

添田町役場1階です。

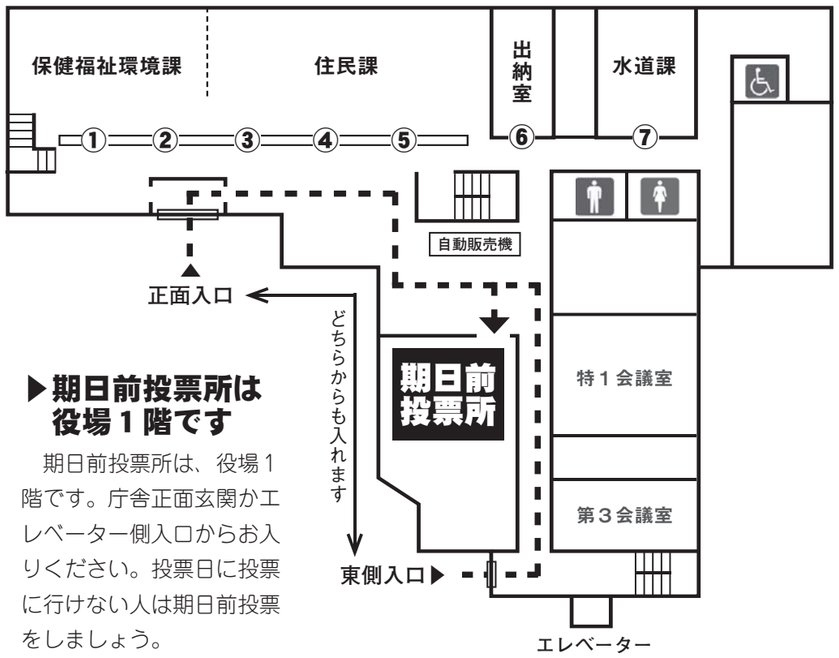
※入場券が届いている場合は、忘れずに持参してください。

不在者投票できる人

指定された病院や施設に入院、入所している人は、その病院や施設で不在者投票ができます。

◉郵便による不在者投票

身体に重度の障がいがあり、歩行が困難で投票所に行くことができない人で、一定の条件を満たしている人や要介護区分状態が「要介護5」の人は、郵便で投票することができます。ただし、この場合は前もって選挙管理委員会に申請して、証明書の交付を受ける必要があります。



▶期日前投票所は役場１階です

期日前投票所は、役場１階です。庁舎正面玄関か工レベーター側入口からお入りください。投票日に投票に行けない人は期日前投票をしましょう。

◉町内の投票所は次のとおりです

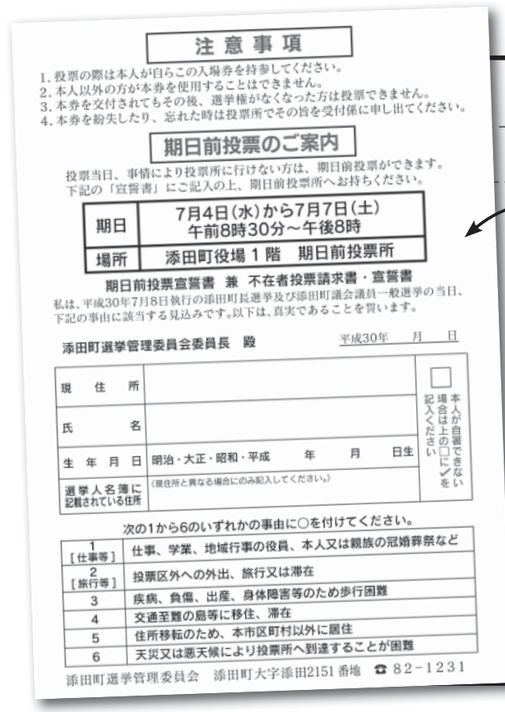
投票所	投票会場	投票所	投票会場	投票所	投票会場
第１	添田小学校	第５	添田町体育館	第９	上津野活性化センター
第２	中元寺公民館	第６	庄地区集会所	第10	桝田地区公民館
第３	彦山地区総合センター	第７	中鶴教育集会所	第11	真木小学校
第４	英彦山公民館	第８	津野公民館	第12	岩瀬・新城集会所

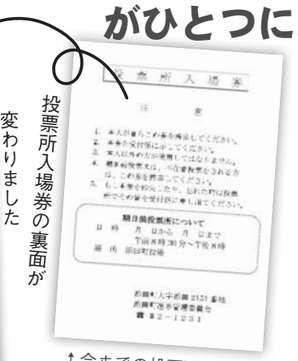
今回の選挙から変わりました

「投票所入場券」と「期日前投票宣誓書兼不在者投票請求書・宣誓書」がひとつになりました

期日前投票がスムーズに

期日前投票をする場合、期日前投票所に行く前に裏面の宣誓書に必要事項を記入し、持参すると受け付けが短時間で行えます。投票所入場券を持参しない場合や未記入の場合は、期日前投票所にある宣誓書に記入し、投票することになります。





↑今までの投票所入場券

←新しく期日前投票宣誓書兼不在者投票請求書・宣誓書がひとつになった投票所入場券

※選挙当日に投票する場合は、宣誓書の記入は不要です。

入場券をなくしても投票できます

もし、入場券をなくした場合や、まだ届いてない場合でも選挙権を有し、選挙人名簿に登録されていれば投票できます。

お子さんも一緒に入場できます

将来を担う子どもたちにも、早い段階から社会の一員、主権者として自覚を持ってもらうため、選挙人の同伴する子ども（乳幼児や児童、生徒その他の18歳未満の人）は投票所への入場が認められています。

即日開票を行います

開票は投票日当日、町民会館で行う予定です。なお、選挙に関して不明な点は、役場内「添田町選挙管理委員会事務局」まで問い合わせください。

添田町を元気に！

地域おこし協力隊通信

Vol. ③

添田町に居住し、地域活性化などの活動を行う地域おこし協力隊。今回は歓遊舎を中心に活躍している佐々木隊員の紹介とレポートです。

第2回・第3回旬野菜の収穫体験

～金の原大地の畑に行こう～

4月15日はアスパラ、29日はイチゴの収穫体験を行いました。天気に恵まれ、多くの皆さんに参加してもらいました。皆さんが土草に触れ、喜んでいたことが印象的でした。今後も町の食や農と皆さんが繋(つな)がることに携わっていきたいと思います。

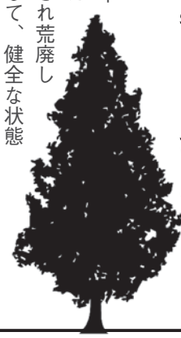
●佐々木晋隊員

佐々木晋（ささきしん）

地域おこし協力隊に着任してから1年半が経とうとしています。現在は、道の駅歓遊舎ひこさんを拠点とし、添田町の商品を町外にPRしています。町のこと、人との関わり方など、毎日新しい学びを得ると同時に、多くの方のご協力をいただき、感謝に満ちた貴重な時を過ごしています。人が優しく、自然が豊かで食べ物がおいしく暮らしやすい。そんな添田町であり続けるために、皆さんと協力させていただきながら頑張っていきます。今後ともよろしくお願いします。

福岡県森林環境税を活用した森林整備事業

森林を守り、育てる



福岡県は、平成20年4月から長期間放置され荒廃した森林を手入れして、健全な状態で次世代へ引き継ぐため「森林環境税」を導入しました。

添田町では、この税を利用し、荒廃森林の再生に取り組んできましたが、今後も森林の荒廃が進むことが予想されています。このため、平成30年度以降も、福岡県森林環境税を継続し、森林を守り育てる荒廃森林整備事業を実施します。

◉取組事業例

◆荒廃森林の整備

強度間伐の実施など、長期的に機能を発揮できる森林づくりを目指し、整備を行います。

◆間伐実施体制の整備

植樹や間伐などの森林づくり活動を拡大し、森林を守り育てる気運の向上を図ります。

※概ね15年以上手入れされていない保安林（保安林でない場合は保安林への指定が必要）で、福岡県の指定する要件に合えば、荒廃森林整備事業で山林の手入れが可能です。対象の森林によって、整備の内容が変わることがあります。

問 役場地域産業推進課林業振興係（☎82―5962）

後期高齢者医療広域連合からのお知らせ

後期高齢者医療広域連合では、制度に加入する全ての皆さんが安心して医療を受けられるよう、4月から光熱水費や食事代の負担が見直され、8月から支払い上限額が変わります。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

■ 問 役場住民課保険年金係（☎82-5966）／ 後期高齢者医療広域連合（☎092-651-3111）

◉ 医療療養病床に入院している人の光熱水費

4月から医療療養病床に入院している65歳以上の皆さんの光熱水費が右表のとおり見直されています。この見直しは、在宅医療や介護保険施設の入所者は、すでに1日370円の光熱水費を負担していることを踏まえたものです。ただし、指定難病の人・老齢福祉年金受給者は負担を求めません。

■負担する1日当たりの光熱水費

医療療養病床に入院している65歳以上の人	～3月	4月～
・医療の必要性の低い人	370円	370円
・医療の必要性の高い人（指定難病の人以外）	200円	▶370円
・指定難病の人　・老齢福祉年金受給者	0円	0円

◉ 入院している人の食事代

後期高齢者医療制度の被保険者で入院した際の食事代の負担額が、4月から変わっています。

■負担する1食当たりの食事代

負担区分		～3月	4月～
3割負担の人、一般		360円	▶460円※
区分Ⅱ	90日までの入院	210円	210円
	過去1年で90日を超える入院 ★長期入院に該当	160円	160円
区分Ⅰ		100円	100円

※一部260円の場合あり

区分Ⅰ・Ⅱの人は「限度額適用・標準負担額減額認定証」が必要となります。詳しくは、保険年金係に問い合わせください。

★別途申請が必要です。長期入院の対象となる入院日数は、後期高齢者医療制度以外の医療保険の日数を含む場合があります。詳しくは保険年金係に問い合わせください。

◉ 8月から高額療養費の上限額が変わります

ひと月に支払った医療費が高額になり、決められた上限額を超えた場合に、上限額を超えて支払った分を払い戻す制度です。上限額は、個人もしくは世帯の所得に応じて決まっています。平成30年8月から後期高齢者医療制度加入者の上限額が下表のように変わります。

■8月からの高額療養費上限額

負担区分		外来（個人単位）	外来＋入院（世帯ごと）
現役並みⅢ（課税所得690万円以上）		252,600円＋（総医療費－842,000円）×1％（多数回該当140,100円※2）	
現役並みⅡ（課税所得380万円以上）		167,400円＋（総医療費－558,000円）×1％（多数回該当　93,000円※2）	
現役並みⅠ（課税所得145万円以上）		80,100円＋（総医療費－267,000円）×1％（多数回該当　44,400円※2）	
一般（※1）		18,000円（年間上限144,000円）※3	57,600円（年間上限44,400円）※3
住民税非課税	Ⅱ住民税非課税世帯	8,000円	24,600円
	Ⅰ住民性非課税世帯（年金収入80万円以下など）		15,000円

※1　世帯収入の合計額が520万円未満（1人世帯の場合は383万円未満）の場合や、「旧ただし書き所得」の合計額が210万円以下の場合も含みます。

※2　過去12か月以内に3回以上、上限額に達した場合は、4回目から「多数回」該当となり、上限額が下がります。

※3　平成29年8月診療分以降、毎年8月から翌年7月診療分の1年間が対象になります。

遊びを通して木の良さを体験しました

木とあそぼ！キッズ Wood Land

５月26日、居・食・住研究会（荒木光子代表）主催の「キッズWood Land（ウッド ランド）」が添田木材で行われました。会場では、子どもたちが巨大なピタゴラ装置で遊んだり、丸太切り体験が行われたりと、大盛況の様子でした。荒木代表は「木に触れ、親しみ、もっと身近に感じてもらいたい。次回は秋頃開催予定です」と話していました。

↑木を削って、世界にひとつのマイ箸を作りました

初公開、江戸時代後期の神宮のお宝

英彦山神宮 高千穂家に伝わるお宝展示

添田町商工会女性部（武貞眞弓部長）による「英彦山神宮大発見展」が歓遊舎ひこさんで開催されています。英彦山神宮の高千穂秀敏宮司の協力で、江戸時代後期の版木の写真や書などを展示。企画した武貞さんは「英彦山の歴史や文化などの魅力を多くの人に知ってもらいたい」と語っていました。展示は６月30日まで。

↑今回の展示を企画した添田町商工会女性部の皆さん

自主財源を確保し住み良いまちへ

県税職員辞令交付

５月１日、皆さんが納めている町税について、滞納解消を進めるため、福岡県から派遣された４人の職員に、辞令交付が行われました。寺西町長は「税金をしっかりと納めてもらい、より良い町にしていきたい」とあいさつ。町税は、行政サービスを行うために欠かせない大切な財源です。納期限内の納付をお願いします。

↑寺西町長から辞令を受け取る４人の県税職員

お米の実る秋が今から楽しみです

中元寺小児童が田植え体験

中元寺小学校の全校児童53人が５月16日、学校近くの田んぼで田植えを体験しました。児童たちは、中元寺の自然を愛する会（宮金美樹会長）の皆さんから教わりながら、慣れない手つきで一列ずつ、丁寧に苗を植え付けていました。秋には稲刈り体験も実施する予定の児童たちは、お米の成長を楽しみにしていました。

↑泥だらけになりながら、植付けをする児童たち

初夏の日差しの中シャクナゲ芽摘み

英彦山長生会がシャクナゲ芽摘み

英彦山地区長生会（手嶋健会長）の皆さんが５月10日、英彦山花公園でシャクナゲの芽摘み作業を行いました。この作業によって、来年も花を期待できるようになります。手嶋会長は「また来年きれいな花を咲かせ、多くの人にシャクナゲを見に来てほしい。少しでもお役に立てればという思いです」と話していました。

↑約20人でひとつひとつ丁寧に摘み取っていました

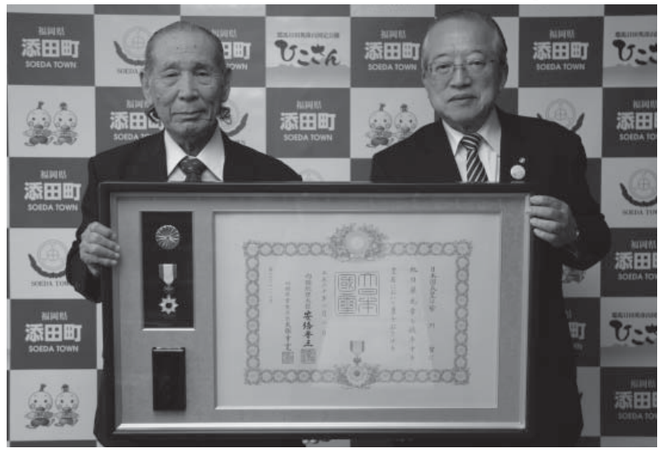
まだまだ元気、笑い声の絶えない１日

老人クラブ連合会春のスポーツ大会

５月18日、添田町老人クラブ連合会の春のスポーツ大会がそえだサン・スポーツランドとそえだドームで行われました。ゲートボールとグラウンドゴルフ、輪投げに約 200 人が参加。日ごろの練習の成果やチームワークを発揮し、元気にボールを打ったり、グラウンドを走ったりと笑い声の絶えない楽しい一日となりました。

↑暑い中元気にグラウンドゴルフをプレーしました

↓「毎日の散歩が日課。これからも人に恥ずかしくない生き方をしていきたい」と語る皆川さん



皆川智さん、旭日単光章受章

平成29年度高齢者叙勲

長年、地方行政に多大な功績を収めたとして、元町議会議員の皆川智さんが旭日単光章を受章しました。皆川さんは、昭和46年６月に添田町議会議員に初当選。当時の町は石炭産業が衰退し、財政的にも厳しい状況下でしたが、常に情熱と誠意をもって、地方自治の振興と発展のため尽力しました。地域住民の厚い信望を得て、平成６年７月までの23年間にわたって町議会議員を務めた皆川さんは、総務文教常任委員会副委員長や産業常任委員会副委員長などを歴任。住民福祉の向上や地方自治の確立など、本町の発展に貢献した功績が認められて、今回の受章となりました。

英彦山でひと息つきませんか

HIKONIWAオープン

５月18日、英彦山別所駐車場前に英彦山の魅力を伝える“やまとまちの案内所”「HIKONIWA（ひこにわ）」がオープンしました。「食で伝える案内所」をコンセプトとした店内では、添田産の野菜をふんだんに使ったカレーライスや、英彦山の水で入れたコーヒーなど、こだわりの食事が味わえ、深倉米の玄米茶や町の特産品なども販売。冬季と月、火曜日は定休日です。皆さんもHIKONIWAでほっと、ひと息ついてみませんか。

↓地域おこし協力隊とも連携して、添田町の自然や野菜、お米などの魅力を伝えていきます

↓今年は２つのブロックとなった体育会。ブロック全員で力を合わせ、勝利を目指しました

全力を出し切り勝利を目指す

添田中学校体育会

５月27日、添田中学校で体育会が行われました。この日のために練習を重ね、気合十分で本番に挑む生徒たち。赤・青の２ブロックに分かれて長なわとびやリレー、応援合戦などが行われ、手に汗握る対抗戦に応援席や保護者から大きな歓声が沸き上がっていました。また、男子による組体操や女子の創作ダンスでは、一致団結して取り組んできた生徒たちの姿に、会場からは盛んな拍手が送られていました。

問 役場まちづくり課文化財係（☎82-5964）

自然と歴史・文化のまちづくりを目指して

今回の歴まちコラムは、平成26年度から10年間の計画で実施している「添田町歴史的風致維持向上計画（以下、風致計画）」の、現在の進捗状況をお知らせします。

風致計画」では、重要文化財等の歴史的建造物の保存や、伝統文化の継承を町の活性化につなげるため様々な事業を進めています。平成29年度までに取り組んだ主な事業は、重要文化財「中島家住宅」の保存修理工事や英彦山神宮参道保存修景整備に係る測量設計、公共サイン整備事業などです。

また小学3年生、4年生を対象に作成した歴史テキスト「知ってる？添田町の歴史」を各小学校に配布し、授業に活用されています。児童からもわかりやすいと評判で、一般販売を行うなど、好評を得ています。

他にもまちづくり団体の設立支援事業等の事業も展開しています。この支援事業では、本町等区域・英彦山区域それぞれにまちづくり団体が設立されました。

重要文化財「中島家住宅」の保存修理工事が今度中に解体工事が終了し、その後、保存組立工事に移り、平成32年度に竣工予定で、町の貴重な資源に光が灯されます。

英彦山区域では、英彦山神宮参道保存修景整備工事を今年度から3年間の予定で実施します。1年目の今年度は英彦山神宮から花山旅館付近の工事を計画。工事期間中は地域にお住いの方をはじめ、参拝者や登山者に大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

公共サイン整備事業は策定したガイドラインに沿って平成35年度まで実施します。町内の誘導ルートや施設案内板を計画的に整備し、効果的に来町者が周遊できるよう事業を進めています。

これら「風致計画」は、進捗状況を毎年、関係省庁へ報告し、町ホームページでも公表しています。それぞれの地域の魅力発信や後世に歴史・文化を継承する事業を計画・実施していきますので、ぜひ一度ご覧いただき町の歴史的風致に触れていただければと思います。

【文・まちづくり課文化財係】

文芸歳時記

【短歌　春扇短歌会　筑紫支社】

庭の木に止まりし雀、鵯の来て　大塚　成子
　逃げまどひけり世の常ならむ
夕風に白バラの花みな動き　五十嵐田鶴
　吾愛犬は小屋に寝ねむる
田がらしも枯藜（かれひこばえ）も勠（はたら）き返され　大塚　富江
　土黒々と五月も半ば
農作業私がせねばと気が勝り　平井　朝子
　子に従はぬあの頃もあり
胡蝶蘭友に送りし大鉢に　木村　寛子
　花の咲けると喜びの声
庭隅に実生の金魚草育ちては　福富　廣枝
　黄や紫に花咲かせをり
故郷（ふるさと）を思ひ出させる田植え時　荒巻ミサ子
　休校となりて吾も働く

【俳句　添田福寿句会】

生涯を愚直に生きて風光る　鶴原　幸江
一樹とて同じ色なき山若葉　安藤はじめ
終（つひ）の人今は追悼春惜しむ　熊谷トシエ

【俳句　天籟通信添田句会　大池青湖選】

初蝶ややさしき風にのせられて　諫山　静香
敗れ去る者にやさしき夕桜　鈴鹿　雅子
ゆく春や降るともみえじ絹の雨　安永　藻香
暮し向き替えてゆったり豆の花　石谷タツ子
変体仮名記号となりて春の街　牧野八寿子
ほろ苦き春菜に命浄められ　武田　晴子
軽鴨について行きたしわれは喜寿　森田　竹子
平和かな夏の白さの朝ごはん　大池みどり

【俳句　投稿】

早乙女も修学院は借景に　濵田イサオ
娘身罷（こ）りて両親（おや）の悲痛な叫びかな　村岡　清香
林立す蕨もやの中消えていく　寺本　紀子
句談義の続く目まとひ払いつつ　島津余史衣
駆けつこで登る園児や梅の丘　柴田　一世
貼紙に「巫女さん募集」水温む　斎藤智寿子
赤味帯び里の山々笑ひけり　天野ユキ海
法螺貝の音色遠のく寒の雨　立花　克明

【短歌　投稿】

夕日あび紅色に染まりゆく　六角堂の滝の水音　梶谷　敏明
吹き落ちたインコの餌に雀等は　今朝も派別で集りてをり　櫻木マサ子
甲高く突き刺す如く鹿の声　山峡に聞く草を刈りつつ　独活山強実

◉7月号に掲載する俳句・短歌・川柳を募集します

6月15日㊎までに役場総務課に連絡してください。

※投稿は1人一句まで。俳句・短歌・川柳の区分を書いてください。

問 役場総務課広報・秘書係（☎82―1231）

まちのホットNews

いろんなお仕事があるんだね

みどり保育園児が社会科見学

①めんべい工場のお姉さんの説明を真剣に聞く園児たち　②「おいしいっ。辛いっ」と言いながらたくさん試食しました　③ホースをかっこよく構える園児　④消防車の中には何があるのかな　⑤小っちゃな消防士になって記念撮影

雲一つない青空となった5月11日、みどり保育園児12人が、めんべい添田工場と田川消防署添田分署へ社会科見学に行きました。めんべい添田工場では、めんべいができるまでのＤＶＤや工場の中を見たり、めんべいを試食したりして、おいしさのひみつを学びました。消防署では、普段間近で見ることのない大きな消防車に園児たちは大興奮。重たいホースを持ったり、消防車に乗ったりと、貴重な体験をしました。最後に「今日はありがとうございました。絶対に火遊びはしません」と大きな声で約束をしていました。

6月生まれ　おめでとう

HAPPY BIRTHDAY

♥3歳までのお子さん募集中です！7月生まれは6月15日㊎までに連絡ください。　問 役場総務課広報・秘書係／☎82-1231

木下 大照（たいしょう）ちゃん
6月23日生 ❸・真木

たいたいの可愛い顔ポーズww☆体重はお兄ちゃんを越しちゃうほどすくすくと育っています(>_<)どすこい！！

姫野 輝（ひかる）ちゃん
6月7日生 ❷・町三

パパとママは、家族みんなを笑顔にしてくれる輝くんが大好きだよ（＾＾）これからも元気に育ってね♡

お子さんの写真掲載しませんか

Eメールでも、受け付けをしています。

Eメールは（koudojyouhou@town.soeda.fukuoka.jp）まで送信してください。

杣友 旭未人（あやと）ちゃん
6月8日生 ❶・上中元寺

元気に大きく育ってね。

添田町情報公開制度・個人情報保護制度
運用状況を公表します

問 役場総務課総務係（☎82―1231）

※数は、開示などを決定した年度で計上しています。

▶添田町情報公開制度および添田町個人情報保護制度の運用

年度	開示	一部開示	不開示	不存在	却下	不服申し立て
29年度	4	2	0	0	0	0

忘れずに、早めの手続きをお願いします

6月は「児童手当現況届」提出月です

児童手当の受給者は、毎年6月に「現況届」を提出しなければなりません。この届出がない場合、6月分以降の手当が受けられなくなりますので、必ず手続きをしてください。

◉支給対象　中学校卒業まで（15歳の誕生日後の最初の3月31日まで）の児童を養育している人

◉支給額（月額）

▷3歳未満　一律 15,000 円

▷3歳以上小学校修了前　第1・2子＝ 10,000 円
第3子以降＝ 15,000 円

▷中学生　一律 10,000 円

※児童を養育している人の所得が所得制限限度額以上の場合は、特例給付として月額一律 5,000円の支給となります。

※「第3子以降」とは、高校卒業まで（18歳の誕生日後の最初の3月31日まで）の養育している児童のうち、3番目以降をいいます。

◉支給月　原則として、6月、10月、2月にそれぞれの前月分までの手当が支給されます。

◉現況届の手続きに必要なもの

▷印鑑

▷児童の属する世帯全員の健康保険証の写し

※受給者が被用者（サラリーマンなど）の場合

▷児童の属する世帯全員の住民票

※児童が添田町以外に住所を有している場合

▷その他、必要に応じた書類

問 役場保健福祉環境課子育て支援係（☎82-1232）

試験・募集

自衛官採用試験

▼募集項目　第2回自衛官候補生

▼試験日　7月7日㊏、8日㊐

▼試験会場　小倉駐屯地、福岡駐屯地、幹部候補生学校（久留米市）

▼資格　18歳以上27歳未満の人

▼受付期限　6月22日㊎

※詳しくは問い合わせください。

問 自衛隊福岡地方協力本部飯塚地域事務所（☎0948―22―4847）

クアハウス夏期学生アルバイト募集

▼採用期間　7月21日㊏～8月30日㊍

▼時給　790円

▼募集人数　1人（男性）

問 クアハウス（☎82―5601）

水道に関する作業員募集

水道メーター検針員・水道料金集金員を募集しています。

▼募集人数　各1人

▼勤務日数　月15日程度

▼契約期間　平成30年7月1日～平成31年3月31日㊐

▼募集期限　6月15日㊎

▼応募方法　役場水道課まで履歴書を持参してください

問 役場水道課管理係（☎82―5961）

介護職員初任者研修受講者募集

▼とき　10月18日㊍～平成31年1月24日㊍の間の指定された火曜・木曜　10時～17時

▼ところ　田川市民会館、田川青少年文化ホール（田川市）

▼対象　介護業務に従事しようとする人と従事している人

▼定員　4人

▼受講料　2万円

▼締め切り　8月31日㊎

問 役場保健福祉環境課高齢者支援係（☎82―1232）

家庭介護介助者養成講座受講者募集

▼とき　7月8日㊐～12月15日㊏の間の12日間（1コース2日間）／定員各20人

▼内容　介護のストレスケア、救急救命、予防介護など

※詳しい日程や会場などは問い

相談

ひとり親サポートセンター飯塚ブランチに相談を

飯塚ブランチでは、ひとり親家庭を対象に、ハローワークと連携し

た就業支援や養育費相談などを行っています。

▼受付日時　月曜～金曜9時～17時（土曜と第1・第3日曜の9時～16時も受け付け）

▼相談内容　▽就業相談＝来所相談・出張相談　▽養育費相談＝電話相談　▽無料弁護士相談＝養育費相談などの結果弁護士による助言が必要と判断された場合、弁護士相談クーポンを配布

※その他、医療事務や介護福祉士実務者研修も行います。詳しくは問い合わせください。

問 ひとり親サポートセンター飯塚ブランチ（☎0948―21―0390）

日曜街かど労働相談会

▼とき　6月24日㊐　10時～18時（受け付けは17時30分まで）

▼ところ　イオン穂波店（飯塚市）

▼内容　賃金未払い、解雇など

※相談内容により弁護士相談も連携して行います（15時～17時）気軽に相談してください。

問 福岡県筑豊労働者支援事務所（☎0948―22―1149）

高齢者のためのしごと・ボランティア合同説明会

「職場や地域で活躍したい」「社会の役に立ちたい」そんな高齢者の皆さんを後押しする説明会です。

▼とき　6月19日㊋　13時～15時30分／参加無料・申込不要

▼ところ　飯塚市立岩交流センター

▼対象　おおむね60歳以上

問 福岡県70歳現役応援センター飯塚オフィス（☎0948―21―6032）

無料法律相談

弁護士による無料相談会を行います。予約は不要ですので、相談場所へ、気軽にお越しください。

▼とき　6月16日㊏、17日㊐、23日㊏、24日㊐　13時～16時

▼ところ　6月16日㊏＝イオンモール直方、17日㊐＝道の駅うすい、23日㊏＝道の駅いとだ、24日㊐＝飯塚コミュニティセンター

▼相談時間　1人30分

問 飯塚法律相談センター（☎0948―28―7555）

教育のひろば

田植えも終わり、町の田んぼには青々とした苗が風にそよいでいます。これからの梅雨の雨と夏の日差しを受けて秋の実りへと育つ様子は、子どもたちの成長を連想させ、多くの期待を感じさせるものであります。

小学校統合基本計画（案）説明会の質問、意見・要望の掲載

昨年の11月から12月にかけて、6回行いました小学校統合基本計画（案）地域説明会での主な質問、意見・要望の内容及び町としての回答を添田町ホームページ（https://www.town.soeda.fukuoka.jp/docs/2018051100011/）に掲載しましたのでお知らせいたします。

この基本計画（案）については、現在の学校の状況や子どもたちの教育環境を踏まえ、将来の課題を示し、今後の町としての方針を出した上で、保護者や地域の方々と一緒になって考えていくものであると思っています。今後も添田町全体として最良となる学校統合の議論をする場を設けていく予定です。現在、その内容や方法について検討していますので、日程が決まり次第、町民の皆さまにお知らせいたします。この会議には多くの方々に参加していただきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

添田町教育委員会では、学校・家庭・地域と協働して、子ども達の「豊かな心と健やかな体を育む教育の推進」に取り組んでいきます。

発達に心配がある、障がいがあるお子さんの

就学相談を受け付けています

来年4月、小学校入学予定のお子さんを対象に就学相談の受け付けをしています。就学相談とは、お子さんが言葉や身体などの発達状態や能力に応じた適切な教育を受けられるよう、小学校入学前に保護者の皆さんから受ける相談事業のことです。入学に向けての不安や心配なことを、一緒に考えていきましょう。

相談から就学までの流れ

まずは相談 → 学校見学・教育支援委員会 → 就学先の決定

※早め早めの相談をお願いします。

問 教育委員会学校教育課（☎ 82-5963）

お知らせ

ラジコンヘリによる農薬散布を行います

6月下旬から8月上旬にかけて、町内の各地区で産業用無人ヘリコプターによる農薬散布を実施します。短期間での防除のため、早朝より作業を行いますので、周辺の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

問 役場地域産業推進課農業振興係（☎82―1237）

日本脳炎の予防接種接種時期が緩和されました

日本脳炎の予防接種後に重い病気になった事例があったことをきっかけに、平成17年度から21年度にかけて、日本脳炎の予防接種の案内を控えていましたが、新たなワクチンが開発され、現在は接種が受けられるようになりました。

▼対象　添田町に住民登録していて平成30年度中に18歳になる人

※この他にも対象の年齢があります。詳しくは問い合わせください。

▼費用　無料／母子健康手帳を持参してください

問 役場保健福祉環境課健康対策係（☎88―8111）

B型肝炎ウイルス検査受けましたか

昭和23年～63年までの間で、満7歳になるまでに集団予防接種やツベルクリン反応検査を受けた人は、B型肝炎ウイルス感染の可能性があります。病態に応じて給付金が受け取れますので、詳しくは厚生労働省ホームページで「B型肝炎訴訟」と検索してください。

問 厚生労働省健康局がん・疾病対策課（☎03―5253―1111）

6月23日㊏～29日㊎は男女共同参画週間です

男性と女性が、職場や学校、地域などで、それぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」を実現するためには、みなさん一人ひとりの取り組みが必要です。私たちのまわりの男女のパートナーシップについて、この機会に考えてみませんか。平成30年度のキャッチフレーズは「走り出せ、性別のハードルを超えて、今」です。

問 教育委員会社会教育課男女共同参画推進係（☎82―5800）

若年性認知症交流会

若年性認知症の人やその家族同士で、日ごろの不安や悩みの相談や、情報交換をしませんか。

▼とき　7月21日㊏13時～15時

▼ところ　福岡市市民福祉プラザ（福岡市）

▼定員　50人／参加無料・要申込

問 若年性認知症サポートセンター（☎092―574―0196）

ポイント方式県営住宅入居者募集

▼募集住宅　県内に所在する県営住宅（募集対象団地や募集戸数などの詳細は募集案内書を確認ください）

▼募集案内書の配布と受付期間　7月12日㊍～7月23日㊊

▼募集案内書配布場所　役場住環境整備課、県内の各市役所・町村役場、公社管理事務所田川出張所ほか

問 福岡県住宅供給公社県営住宅管理部（☎092―781―8029）

アジサイ・ラベンダーまつり

▼とき　6月23日㊏～7月8日㊐　9時～16時30分

▼ところ　英彦山花公園周辺

▼内容　ラベンダー摘み、アジサイ摘みなど

▼入園料　小中学生100円、高校生以上200円

※期間中の土日は、地元特産品の販売やラベンダースティック作りなどのイベントあり。

※内容は日によって変わります。詳しくは問い合わせください。

問 英彦山花公園（☎85―0375）

クアハウス休館

館内清掃・機械点検などのため休館します。

▼とき　6月25日㊊～7月1日㊐

問 クアハウス（☎82―5061）

ありがとうございました（敬称略）

○添田町社会福祉協議会へ

▼香典返し　▽星野直機（上中元寺）▽籾井守（上中元寺）▽中村雄（添田東）▽（故）上野ノブヱ（添田中）▽（故）井早勝（添田西）▽大谷民子（伊原）▽小田部征人（桜橋）▽（故）松井シゲ子（真木）

○特別養護老人ホームそえだへ

▼慰問　▽赤間徳夫（岩瀬）▽伊藤麗子（添田中）▽三丸十七子（添田中）

○錦風荘へ

▼慰問　▽赤間徳夫（岩瀬）▽伊藤麗子（添田中）▽三丸十七子（添田中）

（平成30年5月14日現在）

有害鳥獣の捕獲駆除のために

狩猟免許を取得しませんか

田畑を荒らす有害鳥獣を捕獲駆除するためには、狩猟免許を取得し、狩猟者登録をしなければなりません。自分たちの田畑や地域を守るため、狩猟免許を取得しませんか。

【狩猟免許試験】

◉とき
- ▷1回目　6月28日㊍　9時
- ▷2回目　8月26日㊐　9時

◉ところ
- ▷1回目　庄内公民館
- ▷2回目　筑後農林事務所

◉試験の種類
▷網猟免許　▷わな猟免許　▷第1種銃猟免許　▷第2種銃猟免許

◉申込期限
- ▷1回目　6月15日㊎
- ▷2回目　8月17日㊎

【狩猟免許試験事前講習会】

◉と　き　7月21日㊏　13時～17時

◉ところ　田川青少年文化ホール（田川市）

◉受講料　3,500円、例題集1,620円

◉申込期限　7月13日㊎

問 役場地域産業推進課農業振興係（☎82-1237）

6月18日㊊から受付を開始します

野生鳥獣侵入防止用「のり網」をあっせんします

イノシシやシカの被害防止対策として、「使用済みのり網」の申し込み受け付けを行います。数に限りがありますので、早めに申し込みをしてください。ただし、申し込み状況により枚数を制限する場合があります。

◉あっせん枚数　500枚（18m×1.8m／枚）

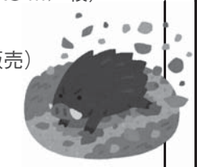
※金属製の網ではありません。

◉価格　350円／枚（10枚単位で販売）

◉受付開始日　6月18日㊊

◉受け渡し日　8月13日㊊以降（平日9時～16時）

◉受け渡し場所　役場南側来客用駐車場横倉庫



問 役場地域産業推進課農業振興係（☎82-1237）

◉健康維持と筋力アップを目指しませんか

クアハウス運動教室

◉期間　7月10日㊋～9月21日㊎

◉腰・肩・膝痛予防教室＝毎週㊋・㊍
①11時～12時、②14時30分～15時30分

◉ダイエット・筋力アップ教室＝毎週㊌・㊎
①11時～12時、②14時30分～15時30分

問 クアハウスハピネス（☎82-5061）

人の動き　4月末日現在（　）は前月比

●人　口	10,076人（−21人）	●出生	4人
●男　性	4,747人（−6人）	●死亡	23人
●女　性	5,329人（−15人）	●転入	25人
●世帯数	4,771世帯（−10世帯）	●転出	27人

相談

●**心配ごと相談**（そえだジョイ／10時～15時）
6月19日㊋、7月3日㊋

●**補聴器相談**（役場ロビー）
6月8日㊎（15時～）、13日㊌（13時～）

●**無料法律相談**（オークホール／13時～16時）
6月15日㊎

※2か月に1回の巡回無料相談会です。前日午前中までに役場保健福祉環境課で予約してください。

問 役場保健福祉環境課（☎82-1232）

●**無料法律相談会**
（福岡法務局田川支局／13時～16時）
6月12日㊋、7月10日㊋

※利用条件あり。詳しくは問い合わせください。

問 法テラス福岡（☎050-3383-5502）

●**こころの健康相談**（田川保健福祉事務所／予約制）
6月12日㊋（10時～）、28日㊌（14時～）

問 田川保健福祉事務所健康増進課（☎42-9307）

●**女性の健康相談・不妊相談**（福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所／要予約）
6月6日㊌、7月4日㊌（13時30分～16時30分）

問 福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所健康増進課健康増進係（☎0948-29-0277）

事件事故発生状況

4月の事件発生状況　（　）内は昨年同月比

種　類	発生件数	今年の累計
オートバイ盗	0（±0）	2
性犯罪	0（±0）	0
車上ねらい	0（±0）	0
空き巣・忍び込みなど	0（±0）	2

3月の事故発生状況　（　）内は昨年同月比

種　類	発生件数	今年の累計
事故発生（物件＋人身）	10（−15）	80
死亡者	0（±0）	0
負傷者	3（＋1）	20

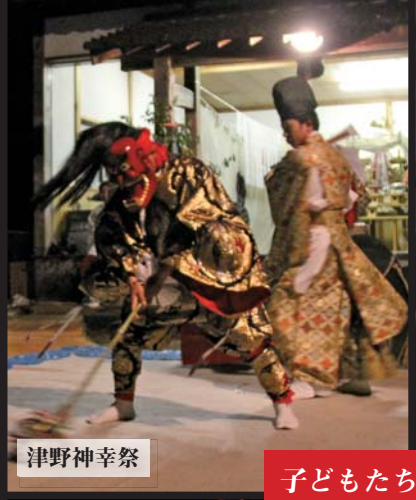
納期限のお知らせ

●**7月2日㊊が納期限です**
▷町県民税（1期・全期）

問 役場住民課税務・滞納対策係（☎82-1234）

広報そえだ
平成30年6月号
6
2018

野田神幸祭


津野神幸祭

上落合神幸祭

子どもたちの歓声、響く太鼓や鐘、笛の音

上中元寺神幸祭

添田神幸祭

下落合神幸祭

5月の風物詩、各地に受け継がれる伝統芸能

初夏の訪れを告げる神幸祭

5月上旬、町内各地で神幸祭が行われ、山笠や神輿（みこし）が町内を練り歩きました。また、神楽（かぐら）や獅子（しし）舞など、古くから伝わる伝統芸能を奉納。いつもは静かなふる里に、子どもたちの歓声と太鼓や鐘、笛の音が響き渡り、各地に初夏の訪れを告げていました。

色鮮やかな山笠集結

5月12日、13日の両日、添田神幸祭が行われました。12日には各地区の山笠4基がJR日田彦山線添田駅横広場に集結しました。

まちかど特派員投稿

特養そえだからの投稿です

5月12日、13日に行われた野田地区の神幸祭。伝統ある獅子舞と楽打ちが披露され、特養そえだの入所者の皆さんも見学しました。

6人がそろって飛びあがる楽打ち

下落合神幸祭が5月3日、4日に行われました。落合小の児童6人が太鼓を叩きながら一斉に飛び上がる楽打ちを披露しました。

広報そえだ 町長室

JR日田彦山線の復旧に向けたJRとの協議開始から、県や関係自治体との協議や意見交換を重ね、4月4日の復旧に向けたJRとの協議のその後です。▼JR九州に復旧着工の決断を迫っています。▼JR九州青柳社長は「今後の運営が確保できなければ、復旧着工は難しい」と言っています。▼我々は、何も難しいことを言っているのではなく「元に戻してもらいたい」だけなのです。乗客増などの運営は、我々もまちづくりで「一緒に考えて行きましょう」と投げかけています。▼70億円とも言われている復旧費ですが、災害復旧で国の助成もあり、以前、JR九州青柳社長も参議院の国土交通委員会に参考人として呼ばれ「復旧に充てる資金などどのような対策を講じているか？」という質問にこう答えています。「上場後も、鉄道ネットワークを維持していくために、引き続き自己資本等により防災の取り組みを着実に進めて参る所存であります」「予算上、災害対策の経費を見越しておりますし、土木構造保険等による備えもしております」「これまで28年間、種々の災害を被りましたが、これまでのところその復旧を果たしてきたわけでございますので、今後とも復旧に努めるよう努力をいたします」▼災害復旧に対するJR九州の基本的考えを示しており、JR日田彦山線もこの考えに沿って全面復旧することをお願いし、「早期復旧」に引き続き頑張っていきます。

↑5月8日に東峰村で行われた日田彦山線復旧の意見交換会 寺西明男フェイスブックより

↓5月8日、日田彦山線復旧の意見交換会での原田啓介日田市長㊧と澁谷博昭東峰村長㊨

寺西明男フェイスブックより

◉防災無線放送内容確認サービス（☎88-8555）火災については、**☎42-0119**におかけください。

◇発行／添田町　◇編集／総務課
〒824-0691　福岡県田川郡添田町大字添田2151番地
☎0947-82-1231　FAX0947-82-2869
ホームページ http://www.town.soeda.fukuoka.jp
◇印刷／丸五印刷株式会社
※広報そえだは再生紙を使用しています